

## 近現代資料刊行会

KS00001291

復刻『じかたび、婦対ニュース・婦人部ニュース、自労婦人しんぶん』 I  
(分売不可)

日本以外での販売可否：可 販売可能機関：すべて

「同時アクセス数1」の販売価格(本価) ￥80,300

「同時アクセス数3」の販売価格(本価) ￥120,450

戦後復興期から高度経済成長期などを経た1949(昭和24)年から1995(平成7)年まで、緊急失業対策法によって、実施された失業対策事業(失対事業)に関連する種々の資史料を系統的に復刻出版するシリーズ「戦後失業対策事業・失対労働者関係史料集成」の第1集である。

資料集は失対事業に従事した労働者の労働組合であった「全日本自由労働組合」(全日自労)が刊行した機関紙『じかたび』、『婦対ニュース・婦人部ニュース・自労婦人しんぶん』を電子書籍として復刻刊行するものである。

その第一期として1947(昭和22)年刊行の『地下たび』(じかたび)第1号から、失対事業への新規流入が停止された1971(昭和46)年刊行分までの『じかたび』と全日自労婦人部の発刊し『婦対ニュース・婦人部ニュース・自労婦人しんぶん』の創刊から終刊号までを収録する。

機関紙『じかたび』は失対事業に従事する労働者の労働条件・環境の改善要求から男女同一労働同一賃金、高齢者問題、基本的人権、民主主義の堅守、平和運動などへと広がる先進的な組合の活動を詳細に伝える。また時代とともに変化する日本の社会・政治状況を失対労働の現場からの視点で記録する一級資料である。蘇る実践の記録は、幅広い研究者による分析によって新自由主義的な社会・経済の展開に伴って広がる格差・分断、非正規労働者の増加、など現代日本が直面する大きな社会問題へ有効な解決策を示す可能性を有する。

復刻『じかたび、婦対ニュース・婦人部ニュース、自労婦人しんぶん』 I ⇒

<https://kinoden.kinokuniya.co.jp/product/img/KD0674.pdf>

